



区政動かした 日本共産党 北区議員団の 提案

のの山けん区議が「区政報告のつどい」で北区議会第3回定例会報告



報告する、のの山けん区議会議員

20日、赤羽会館で「区政報告のつどい」（主催・のの山けん事務所）が開かれました。

冒頭、のの山区議が、スライドを使って45分間にわたり、区議会第3回定例会の内容を報告しました。

予算組み替え提案 19項目が実現

日本共産党北区議員団はこの4年間、北区の当初予算に対し、合

計48項目の組み替え提案をおこなってきました。のの山区議は、このうち、今議会の補正

予算で実現した就学援助入學準備金増額や、介護予防・日常生活支援総合事業の報酬単価引き上げなど、少なくとも19項目が区によって予算化されたと報告。区民の切実な要望を議会に届け、積極的な提案で区政を動かしてきたことは、二元代

表制の一翼になう議会会派の責任を自覚してのものだったと論戦を振り返りました。

さらに、最新の人口推計では、今後10年間、北区の人口が増え続けることが明らかになったのに、区は区民事務所7分室を全廃し、

児童館や学校などを削減しようとしていると告発。おおもとにある公共施設再配置方針の抜本的見直しが必要だと強調しました。

清掃工場解体で全覆いテント使用を

地元問題では、4年後に始まる北清掃工場



参加者からも質問や意見が飛び交った区政報告のつどい

の解体工事で、粉じんや騒音を防ぐための全覆い仮設テントの使用を清掃一部事務組合に求めよと区に迫ったことを紹介しました。

報告後は、参加者からさまざまな意見や要望が寄せられ、のの山区議が一つひとつ丁寧に答えました。

ストップ! 消費税10%増税

「低所得者に配慮」と言うが
複数税率でも格差拡大

政府は消費税率 10%への増税を強行するにあたって、「低所得者に配慮する」ために「複数税率」を導入するとしています。収入の低い世帯ほど高負担となる「逆進性」がさらに悪化することは明白です。



安倍首相があらためて表明した来年10月の消費税増税で、食料品などを8%に据え置く「複数税率」を導入しても、貧富の格差がさらに拡大することが、「しんぶん赤旗」の試算で明らかになりました。

消費税率 8%の段階で、年収2000万円以上の世帯における消費税負担率は1・5%、同200万円未満の世帯では8・9%と7・4ポイントの差でした。

一方、消費税率を10%（複数税率適用）にした場合、年収2000万円以上の世帯では1・8%、同200万円未満の世帯では10・5%でその差は8・7ポイントと開きます（グラフ参照）。

試算は総務省「全国消費実態調査」（2014年）を使い、2人以上の世帯について年収に対する消費税の負担率を算出したものです。



街頭で消費税増税中止を訴える、のの山けん区議

赤羽岩淵中学校

文化発表会



↑→力作ぞろいの生徒たちの展示
←体育館で開かれた合唱コンクール



20日に開かれた赤羽岩淵中学校文化発表会。体育館ではクラス対抗の合唱コンクールがおこなわれ、生徒たちの歌声が館内に響き渡りました。展示物も力作ぞろい。文化の秋にふさわしい発表会でした。（のの山けん）